

生徒たちがつくったロボットが、新しい教科書で紹介

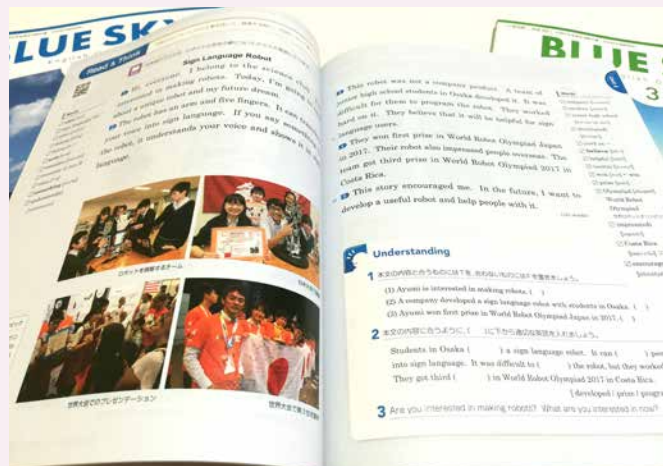
追手門学院ロボット・プログラミング教育推進室 室長 福田 哲也

追手門学院大手前中学校ロボットサイエンス部は、「独立自
彊・社会有為」を具現化すべく、日頃、SDGs(※)を解決するロ
ボット開発に取り組んでいます。とくに『SDGs No3 すべての
人に健康と福祉を』を意識し、2017年、音声認識して手話をす
る手話通訳ロボット「しゅわっと君」、2018年、体と心に栄養
を与える食事介助ロボット「もぐもぐ君」、2019年、愛と安全
を提供する盲導犬ロボット「あいドッグ」の製作に挑み、WRO
ロボコン世界大会やテピアロボットグランプリで高い評価をい
ただきました。



手話通訳ロボットの開発チーム

さて、2021年度からの新学習指導要領導入にともない、中
学校の教科書も新しくなります。そして、新しい中学英語の教
科書(啓林館)に、私たちの手話通訳ロボットの活動が紹介さ
れることになりました。さらに、食事介助ロボットも、新しい体
育の教科書(学研)に!たくさんの新聞やテレビで取り上げて
いただきましたが、まさか教科書に…。驚きをかくしきれま
せん。手話通訳ロボット開発チームのリーダーの辰巳くんは、



新しい英語の教科書(啓林館)

次のようなメッセージをのべてくれました。「教科書に載ると
いう話を聞いた時は本当に驚きました。ロボット開発活動を
5年間行いましたが、ここまで反響を呼んだのはこの年が一番
です。とはいえ、当時はロボットの事が頭から離れないぐらい
過酷な日々の連続でしたが、多くの人の笑顔に繋がると、自分
を奮い立たせました。『継続は力なり』という言葉にもあるよう、
最後まで努力し続けることで成果が出ると身をもって感しま
した。この体験を忘れず私も新しい事に挑戦し続けていこうと
思います。(Otemon Questリーダー辰巳璃)」

私たちのロボットが広く紹介されることは嬉しい限りです。
これからも研究・開発の手を止めず、世に問うロボットの製作
に励みますので、ロボットサイエンス部の応援をよろしく願
いいたします。

SDGs の実現は、人類の願いでもあり、使命でもあります。
私たちの活動は、2025年に開催される大阪万博の理念にも合致
することから、「EXPO共創チャレンジ」の認定を受けました。

(EXPO 共創チャレンジHP)

「大阪の若者が挑むSDGs を
解決するためのロボット開発プロジェクト」



<https://www.expo2025.or.jp/team/report/2020-12-03-474/>

これからも研究・開発の手を止めず、未来創造のためにロボッ
トの製作に励みますので、ロボットサイエンス部の応援をよろしく
お願いいたします。

(※) SDGs (Sustainable Development Goals) とは、2015年の国
連サミットで採択された2030年までに持続可能でよりよい世界を目指
す17の国際目標のことです。



新しい体育の教科書(学研)